

2025

Rotary International District2740

5 May

GOVERNOR'S  
MONTHLY LETTER

2024-25年度  
国際ロータリー第2740地区  
ガバナー 石坂 和彦

# 月信

Vol. 11



ポートルース大村



2024-25 年度 国際ロータリーのテーマ



**Index**

---

Governor's message	.....	1
RLI 卒後研修会報告	.....	2
米山記念奨学委員会報告	.....	3
インターアクト後期指導者研修会報告	.....	4・5
グローバル奨学生選考会報告	.....	6
第4グループIM報告	.....	7
第6グループIM報告	.....	8
第9・10グループIM報告	.....	9
姉妹締結調印式報告	.....	10
職業奉仕ウェブ勉強会お知らせ	.....	11
2025年2月会員数・出席報告	.....	12
新会員紹介・寄付者紹介	.....	13
大村の価値再発見伝	.....	裏表紙

## Governor's message

## 30年後を見て、今を動く！ 青少年が次代を創る！

2024-25年度 第2740地区 ガバナー 石坂 和彦

今、世界中の様々な動向を見たとき暗澹とした気持ちになります。特に強力な存在の一挙手一投足に、世界が震撼させられています。私は思います。人類はそんなに弱くはない。必ず人としての理性、良識、知性が正してくれる。世界理解・親善・平和を希求するロータリーは、弛むことなくそれを理念とし、求めるべき理想とし、今日まで120年の歩みを続けています。200以上の国と地域で、1,400,000人にもなろうとするロータリアンが活動しています。すごい事だと思います。ロータリーに誇りを持ちます。

私たちは、30年後を見るべきです。30年後を見て、今何をなすべきかを考えることが、とても大切だと感じています。

30年後は青少年、若者が創ります。ロータリーはそれをしっかりと応援し支えます。

ポールハリスは次のように述べています。『少年時代に再びもどることができるとしたら、そして物事を自分の気に入るように形づくることのできるとしたら、私がする最初の

ことは、私自身と周囲の大人の理解を深めることです。誰もが他の誰かを理解したとしたら、人々の中のトラブルはほとんどなくなるでしょう。少年たちを本当に援助するためには、できる限り少年の目を持つようにすべきです。』

今月は、“青少年奉仕月間”です。30年後の未来は、青少年に託されています。

### 大船渡大規模森林火災被害支援金の御礼

第2520地区へ大船渡大規模森林火災被害支援金を下記のとおり送金しました。地区内クラブの皆様方のご厚意に心より感謝申し上げます。

大船渡大規模森林火災被害支援金	
地区内クラブ支援金	1,947,531円
地区ガバナー事務所	52,469円
合 計	2,000,000円

RLI 卒後研修会報告

RLI 推進委員会委員長 帯屋 徹 (大村 RC)

3月16日(日)東彼杵町教育委員会大会議室に於いて6時間の「RLI 卒後研修会」を中村靖治パストガバナーを講師に迎え開催いたしました。

RLI 研修はパート I・II・IIIと3日間18時間のプログラムが組まれておりますが、その3日間研修を終了された方より今後の指導者を育成するために設けられた特別コースが「卒後研修」です。特に我が地区では、コロナ感染期よりウェブによる研修を続けております。地域的にリアル研修を開催すると日程や交通手段・宿泊等の問題が重なり参加できない人が多く一人でも多く参加頂きたくウェブでの研修を続けております。ウェブ研修の利便性は認めながら実際に集まらなければ出来ない研修もあることも事実です。

RIの研修スタイルの変更「トレーニングからラーニングへ」従来の講義スタイルからファシリテーションスタイルへ、ファシリ

テーターの育成は各クラブの緊急の課題と成っております。そこで今年はリアルな講習でファシリテーターの育成を兼ね卒後研修会として開催いたしました。

石坂ガバナー・中島ガバナーノミニーを始め35名の参加を頂き「ファシリテーターについて」・「ロータリーの基本理念」・「日本のロータリー史」「ファシリテーション」等の6時限の講習を午前10時～午後5時まで開催しました。いつ自分に質問が飛んでくるかわからない緊張の中で真剣に取り組んで頂き、終了後は皆さん「頭が疲れた」と感想を述べられていました。

この素晴らしい研修をご指導いただきました中村靖治パストガバナーに心より感謝を申し上げます。

次年度も RLI 研修並びに卒後研修会も開催予定ですので、是非ご参加くださいます様お願いいたします。



## 米山記念奨学委員会報告

### ◇ 2024 学年度米山奨学生修了式報告

米山記念奨学委員会委員 宮崎 博（長崎北東RC）

2025年3月8日（土）L&Lホテルセンリュウにおいて、国際ロータリー第2740地区2024年度米山記念奨学生修了式が開催されました。

当日は本村ガバナー補佐によるお祝いの言葉に始まり、奨学生への修了証書の贈呈やカウンセラーへの感謝状の贈呈が行われました。その後の歓送会では、奨学生とお世話されたカウ



ンセラーからそれぞれスピーチをいただくなどして皆さんで楽しく過ごされました。

奨学生は、奨学金によって得ることができた勉強や研究への専念はもちろん、カウンセラーやお世話クラブから受けたおもてなしやアドバイス等に対する感謝の言葉を述べ、参加者の涙を誘うような感動的な場面もありました。また、カウンセラーの皆さんも奨学生との出会いに対する感謝や引き受けてよかったとの感想を述べられました。

奨学生達は、本事業が各クラブの皆さまからいただく寄付によって成り立っていることに感謝しつつ、将来に向けて日本と母国との懸け橋として必ず活躍してくれると感じております。今後とも歴史ある本事業が末永く継続できるよう、各クラブの皆さまにおかれましては、ご理解とご協力を賜ればと存じます。

### ◇ 2025 学年度米山奨学生・カウンセラーオリエンテーション報告

米山記念奨学委員会委員 八坂 邦弘（長崎みなとRC）

2025年4月13日、長崎県東彼杵町総合会館にて2025年度米山記念奨学生カウンセラー・奨学生オリエンテーションが開催されました。

午前10時からの奨学生オリエンテーションでは、米山記念奨学事業は一般の奨学金制度と異なり奨学金を支給するだけでなく奨学生にも果たすべき義務があること、奨学期間を有意義に過ごすにはロータリアンとの関わりが重要であることを説明しました。出席した新規奨学生は全員確約書にサインをしましたので、十分納得してくれたものと思います。また、午前11時からは別室にてカウンセラー向けのオリエンテーションを行い、カウンセラーとしての心構え、奨学生との向き合い方などをレクチャーいたしました。

お昼休憩をはさんで午後1時15分からの全体オリエンテーションでは、新規奨学生とカウンセラーの顔合わせ、奨学生バッジの授与、カウ

ンセラー委嘱状の授与、そして今後の予定の説明などを行い、午後2時30分ごろ全体写真を撮影し閉会いたしました。

奨学生の成長にはロータリアンとの関わりが重要です。これから一年間、奨学生はお世話クラブはもとより出前卓話等で様々なロータリークラブに訪問させていただきます。その節にはぜひ奨学生にお声かけ、そして交流していただきますようよろしくお願い申し上げます。



## インタラクティブ後期指導者研修会報告

インタラクティブ委員会委員長 川島 雄輔 (唐津 RC)

2025年2月22日(土)、東彼杵総合会館大会議室にて、国際ロータリー第2740地区インタラクティブ後期指導者研修会を開催しました。

今年度は前期指導者研修会を開催できなかったため、後期はどうしても開催したいところでした。

ただ予定日の3日前に辻ガバナーエレクトが急逝なされ、その葬儀の日時と被ることになってしまい、予定通りの開催自体を迷いました。しかし、青少年奉仕部門の発展を止めてしまうのはアドバイザーをしてくださっていた辻ガバナーエレクトの本意に反するものであること、そしてもう一人のアドバイザーである千葉パストガバナーが都合を付けていただきご出席いただけるようになったため、予定どおりに開催することができました。

今回の研修会は、インタラクティブに、インタラクティブ活動の将来的な広がりを意識してもらうことを目的として企画しました。

まずロータリーファミリー委員長の徳川清隆様に、「青年と大人の狭間」と題した講演をいただき、インタラクティブからロータリーへとつながっていく奉仕活動についてお話いただきました。

続けて、鎮西学院大学ジャズアンサンブルロータリークラブの神川朝日様、川口芥様、増田綾乃様に、ロータリー活動のことや、高校を卒業して自身の進路を切り開いていく上での指針となる講演をしていただき

ました。特に神川様はロータリアンも顔負けのトークスキルでインタラクティブの緊張をほぐしながら、楽しい雰囲気でお話をしてくださり、インタラクティブ達も聞き入っていました。たくさんの面白そうなスライドを用意してくださっていたのに、こちらの時間設定が十分でなく、大部分を割愛させてしまったことが本当に申し訳なかったです。

そのあとは、休憩を挟み、班に分かれて謎解きゲームに挑戦してもらいました。思いのほかみな熱中して取り組んでくれて、インタラクティブ同士やロータリアンとも交流ができていて、レクリエーション企画としては手応えを感じるものでした。

最後、数人のインタラクティブに挙手にて感想を発表してもらいました。こちらの意図以上の学びを得てくれたことが分かる素晴らしい意見ばかりでした。

インタラクティブの頑張る姿にはいつも感心させられますが、今回の研修会も、改めて青少年奉仕活動へのモチベーションを上げてもらえて、地区インタラクティブ委員会としても大変有意義な機会となりました。

## 【参加したインターアクターの感想（抜粋）】

「研修を経て、参加した身としては「インターアクト」について深めることができましたと思います。中でも徳川さんのインターアクトの現状についての説明、鎮西学院大学ジャズアンサンブル RAC 方々の発表も印象に残っています。3時間近くあった研修で眠気を感じたりもしましたが、おかげで目が覚めてしまうほどの発表でした。他には他校とのレクリエーションも少し新鮮な感じがしました。慣れないこともあって最初はぎこちない部分もありましたが、最終的には協力して謎解

きすることができました。意見交換をする際にも同じ高校生の意見ということもあり、新たな視点・考えを知ることができ、自分のロータリーに対する考えを改めることとなりました。こういう他人からの視点も自分の考えに取り入れたりすることで、自分の進路選択・将来への実現へと活かせるといいです。」

(唐津西高インターアクト・2年・松崎蓮さん)



講演「青年と大人の狭間」  
ロータリーファミリー委員会徳川様



講演「ロータリーアクトのススメ」  
鎮西学院大学ジャズアンサンブル RAC  
神川様、川口様、増田様



優勝チーム



謎解きゲームにチームで取り組む様子

ロータリー財団グローバル補助金奨学生候補者面接選考会報告

財団奨学・学友小委員会委員長 喜多 清基（島原 RC）

安野 伊万里 君（25 歳）

- ・長崎県立長崎東高等学校 卒業
- ・同志社大学 社会学部 社会福祉学科 卒業
- ・アメリカ Amherst College B.A. in Anthropology 卒業
- ・ウプサラ大学（Sweden）合格

＊9月より留学開始

4月10日（木）18：00～

大村・長崎インターナショナルホテルにて、石坂ガバナー、森地区幹事、中島次年度地区幹事のスリートップと財団委員会より12名の委員が出席して、厳正なグローバル補助金奨学生候補者・安野伊万里君の面接選考会が開催されました。

安野君の和・英両文でのプレゼン、面接官の厳しい質疑応答、懇談など総合的に判断された結果、当地区の国際親善大使として相応しいと判断されて、全会一致で合格となりました。

この時点で、当地区のグローバル補助金奨学生候補者となり、安野伊万里君と君付けて

呼び合うロータリーの仲間になりました。

ただ、これからアメリカ財団本部への申請作業行い、奨学金を獲得するまでにはまだまだ険しい道のりです。

彼女の目指している学問は、ロータリーの重点項目の第一番目「平和と紛争予防 / 紛争解決」の分野であり、現在世界レベルで最も必要とされる人財です。今後研修会など通じて、地区のお力も借り、これまでの学友たちの支援も取り付けて、財団委員会の総力を結集して安野伊万里君を支援していく所存です。

最後に、お忙しい中、面接官として出席して下さいました皆様大変お疲れ様でした、お陰様で有意義な面接選考会となりました。





## 第4グループIM報告

ホストクラブ会長 勝山 広孝 (唐津中央RC)

日時：2025年3月15日(土) 14:00~18:00 場所：唐津シーサイドホテル

### テーマ『親睦と融和とロータリー』

2025年3月25日(土)、唐津シーサイドホテルにて、濱口吉治ガバナー補佐(第4グループ)による、インターシティミーティングが開催されました。

第4グループは唐津RC、唐津東RC、伊万里RC、唐津西RC、伊万里西RC、唐津中央RCの6つのクラブで構成されており、今回の主幹クラブは唐津中央RCでした。

石坂和彦様(ガバナー兼ガバナーエレクト)、森広康様(地区幹事)、中島幸利様(次年度地区幹事)を来賓に迎え、第4グループの会員約140名が参加し、盛大に行われました。

今回のIMの内容は、石坂ガバナーによる基調講演と、第4グループ所属の6クラブ会長によるオープンミーティングの2部構成で行われました。

石坂ガバナーには『ロータリーの価値の再発見(ロータリーを語り合おう)』と題して講演いただき、多くの方が熱心に聴講されていました。

講演後に休憩を挟み、『クラブ活性化に向けての取り組みについて』を題材に、オープンミーティングが行われました。オープンミーティングは、濱口ガバナー補佐がコーディネーター役を担い、各クラブの会長へ質問を投げかけ、回答するという形式で行われました。質疑内容は、各クラブの特色が反映されるようなものを事前に準備していたため、他クラブの取組について聞けるという貴

重な機会を設けることができました。

その後、石坂ガバナーに講評をいただき、IMを閉会し、会場を移して懇親会を行い、参加者全員で親睦を深め合い、大盛会となりました。

今回のIMは、実行委員会を半年以上前に立ち上げ、唐津中央RCのメンバー全員で、濱口ガバナー補佐をサポートしながら、作り上げてきました。その甲斐もあり、『今までにないようなIMだった』と、多くの皆様からお褒めの言葉をいただくことができました。2月に辻ガバナーエレクトがご逝去されたことで、プログラムの内容が一部変更になるなどの不測の事態もありましたが、石坂ガバナーが早く代役を引き受けていただいたことで、無事に解決することができました。石坂ガバナー、本当にありがとうございました。

今回のIMが、第4グループ所属の全クラブが、クラブ内を活性化するための一助となることを期待し、報告とさせていただきます。



## 第6グループ IM報告

実行委員長 里元 浩二（佐世保東南 RC）

2025年3月5日、第6グループIMが盛大に開催されました。本イベントには、石坂ガバナー様、森地区幹事様、国際青少年交換委員長の徳永様、第6グループの会長・幹事様、そして入会3年未満の新会員の方々がご参加くださいました。本IMの目的は、他のロータリアンとの親睦を深め、共にロータリー活動の意義を再確認することでした。参加者全員が一体感を感じることができ、目的は大いに成功を取めることが出来ました。

最初に行われた講演では、徳永委員長より、ロータリークラブの国際青少年交換プログラムについてご紹介いただきました。留学生との交流や、そのプログラムがもたらす多くの利点についてのお話は、参加者にとって非常に興味深い内容でした。特に、留学生たちが異文化理解を深めると同時に、ホスト国の文化や習慣を学び、双方にとって貴重な経験となる点が強調されました。また、徳永委員長からは、留学生の受け入れに対する意義や、地域社会への貢献についても触れられました。これにより、参加者は今後の国際的な活動に対する理解を深め、意識を新たにすることができました。

懇親会では、参加者同士の交流がさらに活発化し、ロータリークラブの枠を超えた親睦が深まりました。地元高校生バンドの余興により若い世代の力強い演奏に、会場は盛り上がり、参加者たちの間に温かな絆が生まれました。このような地域との連携を深める活動も、ロータリークラブが大切にしている部分であり、懇親会を通じてその重

要性を再確認することができました。

当日の参加者数も予想以上に多く、ロータリークラブの活動に対する関心の高さを伺わせました。特に、入会3年未満の新しい会員が多く参加していただき、みなさんのロータリー活動への熱意が伝わってきました。他のロータリアンとの交流を通じて新たな知識や経験を得る貴重な機会となったと思っております。

今回のIMは、ロータリークラブの仲間たちとの絆を強化し、異なる地域やバックグラウンドを持つロータリアン同士の協力を促進する素晴らしい機会となりました。今後も、このような機会を通じて、ロータリークラブの理念を広め、地域社会に貢献する活動を続けていくことが求められます。

最後に、ご来賓の皆様、そして参加者の皆様に心より感謝申し上げます。この度のIMが今後のロータリー活動のさらなる発展に繋がることを願ってやみません。



## 第9・10グループ IM報告

ホストクラブ会長 安田 伸幸 (長崎中央RC)

令和7年3月2日(日) 国際ロータリー第2740地区第9・第10グループ インターシティミーティングは、ホストクラブに長崎中央ロータリークラブ、コ・ホストクラブに長崎北東ロータリークラブとして、長崎市のザ・グローバルビュー長崎にて、滞りなく執り行われました。

開会前には、先だって永眠された辻幸徳ガバナーエレクトに対し黙祷を捧げ、哀悼の意を表しました。その後、ホストクラブである長崎中央ロータリークラブの安田会長による点鐘と、高田昌一郎IM副実行委員長の開会宣言により、正式に会が始動。全員が立ち上がり「君が代」を斉唱し、ロータリーソング「奉仕の理想」の合唱が行われるなど、会の荘厳な雰囲気が漂いました。

続いて、原田実行委員長の歓迎挨拶、安田会長より来賓、IM役員のご紹介がなされ、石坂ガバナーおよびパストガバナー、さらに地区幹事や9、10グループのガバナー補佐などの方々が順次ご紹介されました。その後、出席クラブの紹介が行われ、具体的な出席人数とともに、各クラブの存在感が示されました。

記念講演部門では、まず落語家こそだ亭舞扇氏による落語「動物園」および「メゾン・ド・scotz」によって、笑いと感動が呼び起こされ、聴衆の笑顔が広がりました。講演終了後は15分の休憩を挟み、続いて日本笑いヨガ協会代表の高田佳子氏が「笑いは健康と幸せの処方箋～笑って脳を手懐ける」というテーマで講演を展開。健康と

幸福に対する新たな視点が提供され、参加者一同大いに刺激を受ける場面となりました。

コ・ホストクラブ長崎北東ロータリークラブ西岡会長による閉会の辞をもって、形式的な進行は一段落。その後、第2部となる懇親会が開始されました。懇親会では、各クラブの再配置のもと、ロータリー男性合唱団ハミングバーズの合唱、乾杯の発声、さらに津軽三味線の生演奏といった多彩なプログラムが実施され、参加者同士の親睦が一層深まりました。最後は、「手に手つないで」の合唱および万歳三唱により、和やかな余韻の中でインターシティミーティングは幕を閉じました。

以上、第9・第10グループ インターシティミーティングは、厳正な進行管理と参加者各位の温かい協力のもと、地域間の交流とロータリー精神の再確認ができる貴重な機会となりました。今後とも、地域社会への貢献と会員間の絆の強化に向け、さらなる活動の充実を図ってまいります。



姉妹締結調印式開催報告

会長 公門 新治 (佐世保北RC)

2025年4月11日(金)、国際ロータリー第3800地区、フィリピンのMarikina West RCと第2740地区佐世保北ロータリークラブの姉妹締結調印式・祝賀会がホテルフラッグス九十九島で盛大に開催されました。

式典にはMarikina West RC会長マグナムアグパオア会長、ポップソリス直前ガバナーをはじめとする8名が来日して参加、佐世保北RCからは公門会長をはじめとする31名、佐世保北フレンドシップロータリー衛星クラブからは八木議長をはじめとする10名が参加したほか、2740地区2019年-2020年ガバナー千葉憲哉様、パートナーのまさ子様、2740地区財団委員長 岡村 康司様をご来賓としてお迎えしました。

Marikina West RCとはガバナー月信4月号で報告させて頂きましたグローバル補助金事業「ソーラー灌漑施設敷設による農民救済プロジェクト」の実施を通して、両クラブのメンバーが交流し、相互に親睦と信頼を深めた結果、双方のクラブで姉妹締結をしようという機運が高まり、今回の締結式に至ったものです。

佐世保北RCでは昨年5月の理事会にMarikina West RCとの姉妹締結について審議を行い、承認され、調印式への開催に向けて準備が始まりました。とは言え、上述のグローバル補助金事業の実施国を選定する時点で、同クラブが佐世保北RCと同じ1984年の創立であったこと、例会開催日が月曜日と同じ、会員数も40名前後と類似する規模で

あった等、両クラブには共通要素が多く、将来の姉妹締結をその時点で意識していたことも事実でした。

互いの熱い想いの実現の場となった調印式でしたが、姉妹クラブ締結書に両会長が署名を行った後、佐世保北RCの公門会長が、この奇跡的な出会いはまさに「ロータリーのマジック」であるとお祝いの弁を述べると、Marikina West RCのマグナム会長は『超我の奉仕』、『受益者の生活に非常に効果的なプロジェクトの実施』という共通の目標に向かってスタートを切りましょう！と応じました。

それに続き、ポップソリス直前ガバナーご夫妻、千葉憲哉ご夫妻が壇上に上がり、「マブハイ RC Sasebo North！（佐世保北RC万歳！）、マブハイ RC Marikina West！（Marikina West RC万歳！）、マブハイ Rotary！（ロータリー万歳！）」の掛け声に会場一同も大声で呼応し乾杯！会場は大変な熱気と興奮に包まれました。



5月21日 水  
19:00 ~ 20:15

第6回職業奉仕  
ウェブ勉強会テーマ  
「職業奉仕は  
ロータリーの  
中核と成りえるか」



第2770地区 埼玉吉川ロータリークラブ  
パストガバナー  
特別講師 中村 靖治氏



詳しくはクラブ事務局またはガバナー事務所まで  
※開催1か月前に各クラブへ参加申込書をお送りします

2016-2022 日本 RLI ファシリテーター委員長  
RLI に2009-現在に至るまで携わり日本では当初  
3地区のみだった RLI 参加地区を 28 地区に拡大された  
RLI の功労者。2740地区でも 2019 年より RLI 研修会の  
指導をいただき、現在に至る

またその功績により世界で唯一の  
RLI 世界本部から2022年度の  
特別功労賞デビットリネット賞を受賞  
されている。



ロータリー歴 (43年)

- 1979 \* 吉川ロータリークラブへ入会
  - 2007~08 \* 国際ロータリー第2770地区ガバナー
  - 2009~10 \* 国際ロータリー研修リーダー
  - 2011~12 \* GETS 研修チームリーダー
  - 2013~14 \* 第2770地区研修リーダー
  - \* リスボン国際大会推進委員会日本委員
  - \* 第1ゾーンロータリー財団地域コーディネーター補佐
  - 2011~16 \* 第2840地区(群馬) RI 会長代理
  - \* 第2610地区(石川・富山) RI 会長代理
  - \* 第2660地区(大阪) RI 会長代理
  - \* 第2830地区(青森) RI 会長代理
  - \* 第2730地区(鹿児島・宮崎) RI 会長代理
  - 2017~18 \* 第2720地区(熊本・大分) RI 会長代理
  - 2018~19 \* 第2730地区(鹿児島・宮崎) RI 会長代理
  - 2021~22 \* 第2730地区(鹿児島・宮崎) RI 会長代理
  - 2015~16 \* RLI 日本支部事務局長
  - 2016~22 \* RLI 日本支部ファシリテーター委員会委員長
  - 2021~22 \* RLI David Linett 特別功労賞受賞
- ロータリー財団・米山記念奨学会
- \* 米山記念功労者 メジャードナー
  - \* ロータリー財団 メジャードナー
  - \* ロータリー財団 遺族友の会
  - \* ロータリー財団 ヘネファクター
  - \* 紀子&靖治 ロータリー平和センター冠名基金

2025年2月会員数・出席報告

グループ	クラブ名	例会数	平均出席率	会員数			当該月			累計	
				7月1日	うち女性	当月末	うち女性	新入	退会		増減
第1グループ	佐賀	4	82.3	78	9	77	8	0	1	-1	-1
	小城	4	61.0	28	4	31	4	1	0	1	3
	牛津	3	68.3	29	0	29	0	0	0	0	0
	多久	4	85.9	36	6	34	6	0	0	0	-2
	佐賀大和	3	56.9	24	6	24	6	0	0	0	0
	小計		70.9	195	25	195	24	1	1	0	0
第2グループ	佐賀西	3	67.4	36	4	39	4	0	1	-1	3
	佐賀北	2	51.2	44	3	45	3	0	0	0	1
	佐賀南	3	79.4	46	6	48	6	0	0	0	2
	神埼	3	68.8	39	4	39	4	0	0	0	0
	佐賀空港	3	65.5	16	0	16	0	0	0	0	0
	小計		66.5	181	17	187	17	0	1	-1	6
第3グループ	有田	2	76.9	31	2	26	2	0	0	0	-5
	武雄	2	82.1	44	3	42	2	0	0	0	-2
	鹿島	3	91.7	28	5	28	5	0	0	0	0
	嬉野	4	90.0	26	2	26	2	0	0	0	0
	大町	2	64.3	15	0	15	0	0	0	0	0
	太良	4	88.9	9	0	9	0	0	0	0	0
	小計		82.3	153	12	146	11	0	0	0	-7
第4グループ	唐津	3	85.1	54	0	55	0	0	1	-1	1
	伊万里	4	90.7	27	0	26	1	0	1	-1	-1
	唐津東	4	86.9	49	2	51	2	0	0	0	2
	唐津西	3	86.8	25	0	26	0	0	0	0	1
	伊万里西	3	81.4	34	5	34	5	0	0	0	0
	唐津中央	4	86.6	33	4	34	4	0	0	0	1
	小計		86.2	222	11	226	12	0	2	-2	4
	第5グループ	佐世保	3	76.1	73	0	77	1	0	0	0
平戸		4	65.5	23	4	22	4	0	0	0	-1
北松浦		3	84.6	23	2	26	2	0	0	0	3
佐世保西		2	56.4	21	4	23	5	0	0	0	2
松浦		4	86.5	23	0	26	0	0	0	0	3
小計			73.8	163	10	174	12	0	0	0	11

グループ	クラブ名	例会数	平均出席率	会員数			当該月			累計		
				7月1日	うち女性	当月末	うち女性	新入	退会		増減	
第6グループ	佐世保南	3	100.0	58	2	61	3	4	0	4	3	
	佐世保東	3	66.2	27	1	26	1	0	0	0	-1	
	佐世保北 (衛星クラブ14名)	2	94.0	52	5	54	6	0	0	0	2	
	佐世保中央	4	81.3	54	3	54	3	0	0	0	0	
	佐世保東南	1	72.0	27	0	28	1	0	0	0	1	
	HTB佐世保	2	76.0	23	3	23	4	0	0	0	0	
	小計		81.6	241	14	246	18	4	0	4	5	
第7グループ	大村	3	76.9	39	4	42	4	0	0	0	3	
	島原	3	79.5	29	2	26	2	0	0	0	-3	
	大村北	3	85.0	23	1	27	1	0	0	0	4	
	島原南	3	60.7	18	3	17	2	0	0	0	-1	
	大村東	3	81.7	36	6	37	6	0	0	0	1	
	小計		76.8	145	16	149	15	0	0	0	4	
第8グループ	諫早	4	74.2	72	0	73	0	0	0	0	1	
	諫早北	3	83.9	76	3	74	3	0	2	-2	-2	
	諫早西	2	87.6	49	3	49	3	0	1	-1	0	
	諫早多良見	3	86.4	27	2	27	2	0	0	0	0	
	雲仙諫早南	2	70.8	13	4	12	3	0	0	0	-1	
	小計		80.6	237	12	235	11	0	3	-3	-2	
第9グループ	長崎	4	87.2	61	2	64	2	1	0	1	3	
	福江	2	65.9	28	0	30	0	0	0	0	2	
	長崎北東	2	68.6	36	2	37	2	0	1	-1	1	
	福江中央	2	87.5	18	1	18	1	0	0	0	0	
	長崎西	3	76.9	35	1	35	1	0	0	0	0	
	長崎琴海	3	66.7	7	0	7	0	0	0	0	0	
	小計		75.4	185	6	191	6	1	1	0	6	
第10グループ	長崎北	3	76.6	71	1	71	1	1	0	1	0	
	長崎南	2	72.0	69	0	70	1	0	0	0	1	
	長崎東	3	76.3	42	2	41	2	0	0	0	-1	
	長崎みなと (衛星クラブ10名)	3	79.4	24	1	33	7	0	0	0	9	
	長崎中央	3	91.7	43	2	44	2	0	0	0	1	
	長崎出島	4	77.0	73	10	72	10	0	0	0	-1	
小計		78.8	322	16	331	23	1	0	1	9		
55クラブ合計				77.6	2,044	139	2,080	149	7	8	-1	36

\*上記の表の新入・退会は当月中の数字で、累計は2024年7月1日から2025年2月末までの増減です。

**新会員紹介** 私たちの新しい仲間になりました方々を紹介します。



小城 RC

広瀬 和彦 君

(株)広瀬測量  
代表取締役



佐世保南 RC

中村 恵利子 君

(株)HAKU  
代表取締役



佐世保南 RC

樋口 優太 君

(株)御楯  
代表取締役



佐世保南 RC

前田 力弘 君

(有)ダリックス  
代表取締役



佐世保南 RC

四元 剛貴 君

(有)タイヤショップ四元  
取締役



長崎 RC

末永 裕之 君

(株)電通九州長崎支社  
支社長



長崎北 RC

平松 俊輔 君

長崎食糧倉庫(株)  
常務取締役

※氏名の下部は勤務先、役職  
※今月号に掲載が間に合わな  
かった新会員の方のご紹介  
は、次号に掲載させていただきます。

**寄付者紹介** 御厚意に深く感謝申し上げます。認証者の方を記載いたします。

ロータリー財団		
種類	氏名	クラブ名
マルチプル・ポール・ハリスフェロー	辻 幸徳	唐津 RC
	朝長万左男	長崎 RC
ポリオプラス	武井 隆	佐世保西 RC
ベネファクター	鳥巢 維文	長崎 RC

ポリオ・ワンコイン BOX 報告

今月分 BOX 金額 167,104 円

累計金額 2,618,437 円

米山記念奨学会		
種類	氏名	クラブ名
米山功労者 メジャードナー	福元 裕二	佐賀北 RC
	朝永 春郎	松浦 RC
	為永 伸夫	大村東 RC
	小川 春彌	長崎南 RC
米山功労者 マルチプル	中山 虎雄	唐津中央 RC
	末永 建男	長崎南 RC
米山功労者	藤岡 良規	長崎 RC
	川野 義幸	長崎南 RC
	中村 貢一	長崎南 RC
	八坂 邦弘	長崎みなと RC
米山功労クラブ		長崎南 RC

Re:discover the Value Omura

大村の価値再発見伝

## ～ボートレース大村～

発祥の地としての誇りとともに、  
進化するボート場を目指して

ボートレース大村は、1952年4月6日に、日本で初めてモーターボートレースを開催した「ボートレース発祥の地」です。

開設後は新たなレジャーとして人気を博していた時代もありました。しかし娯楽の多様化などから売上が低迷し存続の危機に直面し、その中で「発祥の地というブランドを消してはならない」という強い思いから中長期の経営方針を確立し経営再建へ取り組みました。

2015年3月には施設の全面建替えを実施し、新スタンドをオープン。帆船を模した外観が特徴で、キッズルームの整備、食の充実を図るためフードコートを設置しました。特にトイレにはこだわり、日本のトイレ設計の第一人者である小林純子さんに監修をいただきました。全ての箇所が違うデザインとなっており、レース観戦はもとより、



家族連れや女性同士でも楽しめる、デザイン性のみならず機能性が高い施設となっています。2022年11月には、老若男女問わず世代間交流ができるよう、コミュニティーパーク「グリーンおおむら」を開設。県内最大級のスケートボード場、全天候型ボルダリング施設やインクルーシブ遊具を設置するなど、レース以外でも楽しめる施設づくりを進めています。

売上については、インターネットや携帯web投票など販売形態の多様化や全国のボート場間の競争が激化する中、2018年度からナイターレース、2021年度からミッドナイトレースを開催しています。これまでの固定観念にとらわれないサービスやイベントを開催するといった積極的な施策を展開し、さらなるファンの獲得に力を入れています。

2024年度のボートレース大村の売上は全国24レース場中、5年連続「売上日本一」を達成しています。先人達がさまざまな苦難を乗り越え、全国に先駆けて立ち上げ、遺してきた伝統あるレース場として、今後も、あらゆる変化に迅速に対応し、事業を通して社会貢献や地域貢献を果たしていきます。



編集後記

あっという間に今年度も残すところ1ヶ月となりました。皆様には、この1年、残された1か月だけでは掲載できないほどの充実した活動をされておりましたが、次号では、1年間の締め括りにふさわしい充実した誌面作りができるよう、チーム一丸となって取り組んで参りますので、更なる皆様のご指導、ご協力をお願い申し上げます。

国際ロータリー第2740地区  
ガバナー事務所

〒856-0832  
長崎県大村市本町458番地2 中心市街地複合ビル1階  
TEL0957-51-6439 FAX0957-51-7054  
E-mail:ri2740ishizaka@octp-net.ne.jp



WEBサイト